

## 景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

### 【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式  
調査時点 平成25年12月2日発送  
平成25年12月20日投函期限  
調査対象 信用保証利用先1,500企業  
有効回答数 485 企業(回答率 32.3%)

※ 当期:平成25年10月～12月実績見込  
次期:平成26年1月～3月期予測

### 【DI値について】

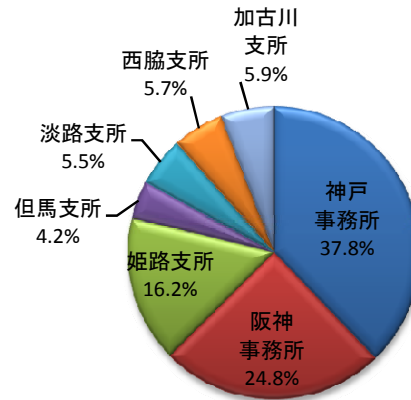
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

## I. 貴社の概要について

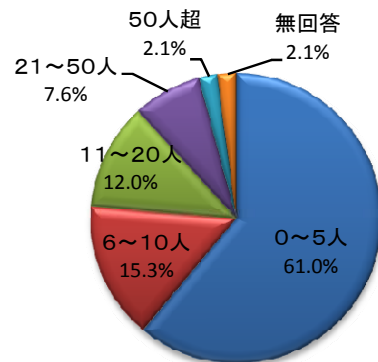
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	180	37.8%
阪神事務所	118	24.8%
姫路支所	77	16.2%
但馬支所	20	4.2%
淡路支所	26	5.5%
西脇支所	27	5.7%
加古川支所	28	5.9%
小計	476	100.0%
地域不明・無回答	9	-
合計	485	-



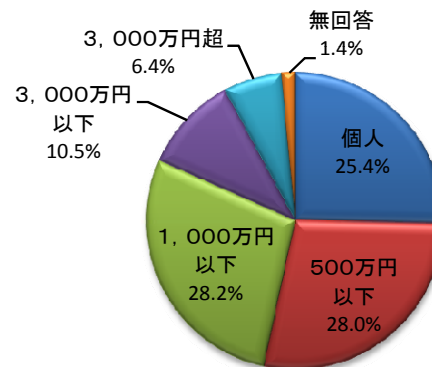
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	296	61.0%
6～10人	74	15.3%
11～20人	58	12.0%
21～50人	37	7.6%
50人超	10	2.1%
無回答	10	2.1%
合計	485	100.0%



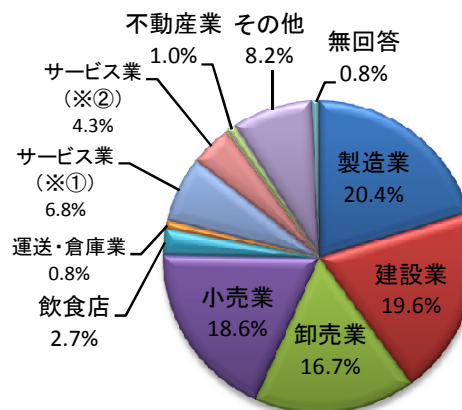
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	123	25.4%
500万円以下	136	28.0%
1,000万円以下	137	28.2%
3,000万円以下	51	10.5%
3,000万円超	31	6.4%
無回答	7	1.4%
総計	485	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	99	20.4%
建設業	95	19.6%
卸売業	81	16.7%
小売業	90	18.6%
飲食店	13	2.7%
運送・倉庫業	4	0.8%
サービス業(※①)	33	6.8%
サービス業(※②)	21	4.3%
不動産業	5	1.0%
その他	40	8.2%
無回答	4	0.8%
合計	485	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

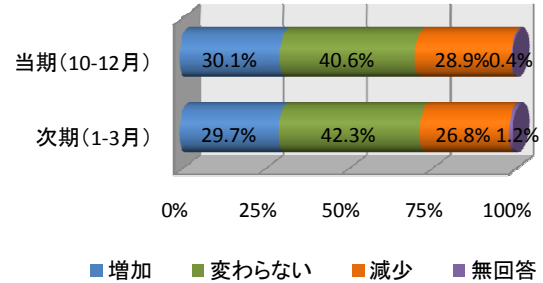
## Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(13年10～12月期)は、前期(13年7～9月期)に比べどのような状況ですか。  
 (2) 次期(14年1～3月期)は、当期(13年10～12月期)に比べどう思いますか。

### 【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	146	30.1%
変わらない	197	40.6%
減少した	140	28.9%
無回答	2	0.4%
総計	485	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	144	29.7%
変わらないと思う	205	42.3%
減少すると思う	130	26.8%
無回答	6	1.2%
総計	485	100.0%

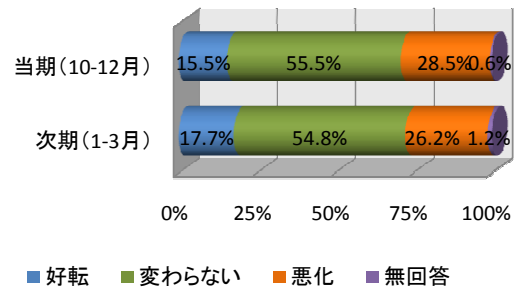
### 生産・売上DI(増加ー減少)

調査時期(実績)	2011年10～12月	2012年1～3月	2012年4～6月	2012年7～9月	2012年10～12月	2013年1～3月	2013年4～6月	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月(見込み)
兵庫県	▲ 25.6	▲ 28.0	▲ 20.4	▲ 23.6	▲ 28.5	▲ 22.0	▲ 23.2	▲ 13.1	1.2	2.9

### 【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	75	15.5%
変わらない	269	55.5%
悪化した	138	28.5%
無回答	3	0.6%
総計	485	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	86	17.7%
変わらないと思う	266	54.8%
悪化すると思う	127	26.2%
無回答	6	1.2%
総計	485	100.0%

### 採算DI(好転ー悪化)

調査時期(実績)	2011年10～12月	2012年1～3月	2012年4～6月	2012年7～9月	2012年10～12月	2013年1～3月	2013年4～6月	2013年7～9月	2013年10～12月	2014年1～3月(見込み)
兵庫県	▲ 32.8	▲ 30.8	▲ 26.5	▲ 29.1	▲ 31.7	▲ 25.4	▲ 31.8	▲ 19.7	▲ 13.0	▲ 8.5

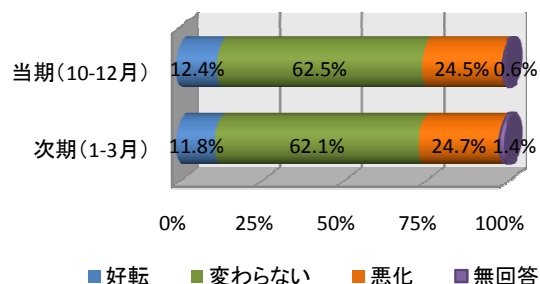
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	60	12.4%
変わらない	303	62.5%
悪化した	119	24.5%
無回答	3	0.6%
総計	485	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	57	11.8%
変わらないと思う	301	62.1%
悪化すると思う	120	24.7%
無回答	7	1.4%
総計	485	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2011年 10~12月	2012年 1~3月	2012年 4~6月	2012年 7~9月	2012年 10~12月	2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月 (見込み)
兵庫県	▲ 35.7	▲ 30.6	▲ 23.8	▲ 21.6	▲ 25.7	▲ 21.4	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 12.2	▲ 13.0

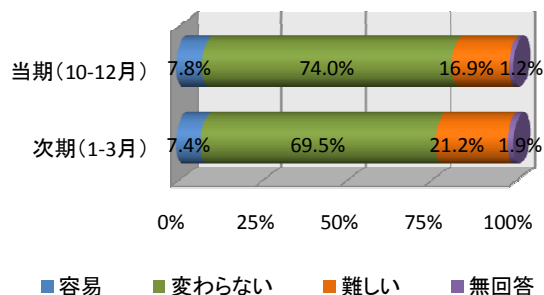
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	38	7.8%
変わらない	359	74.0%
難しくなった	82	16.9%
無回答	6	1.2%
総計	485	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	36	7.4%
変わらないと思う	337	69.5%
難しくなると思う	103	21.2%
無回答	9	1.9%
総計	485	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

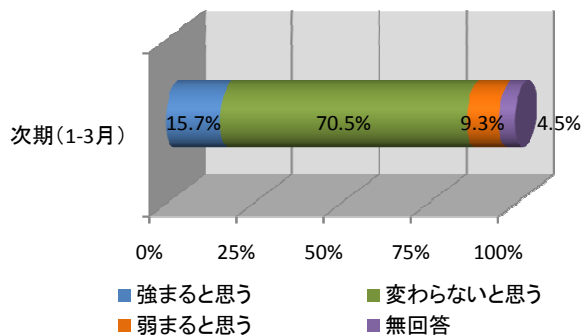
調査時期(実績)	2011年 10~12月	2012年 1~3月	2012年 4~6月	2012年 7~9月	2012年 10~12月	2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月	2014年 1~3月 (見込み)
兵庫県	▲ 25.2	▲ 21.7	▲ 16.4	▲ 11.9	▲ 14.9	▲ 14.6	▲ 15.6	▲ 12.5	▲ 9.1	▲ 13.8

今回の調査では、当期(10-12月)に比べ次期(1-3月)において、採算は「好転」とする回答が増加し、「悪化」とする回答が減少しており改善する見方が窺えます。一方で、生産・売上は「増加」、資金繰りは「好転」、借入難易感「容易」とする回答がそれぞれ減少しており、厳しい見方が窺えます。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	76	15.7%
変わらないと思う	342	70.5%
弱まると思う	45	9.3%
無回答	22	4.5%
総計	485	100.0%



信用保証付要請DI(強まる-弱まる)

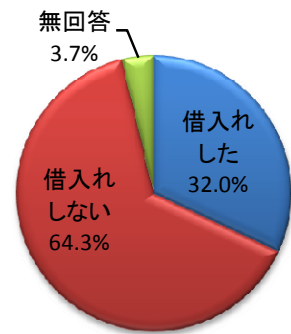
調査時期 (見込み)	2011年 10~12月 (1~3月)	2012年 1~3月 (4~6月)	2012年 4~6月 (7~9月)	2012年 7~9月 (10~12月)	2012年 10~12月 (1~3月)	2013年 1~3月 (4~6月)	2013年 4~6月 (7~9月)	2013年 7~9月 (10~12月)	2013年 10~12月 (1~3月)
兵庫県	7.6	3.1	7.6	7.3	11.9	6.6	8.9	5.6	6.4

金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(13年10～12月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。  
※手形の割引は含めません

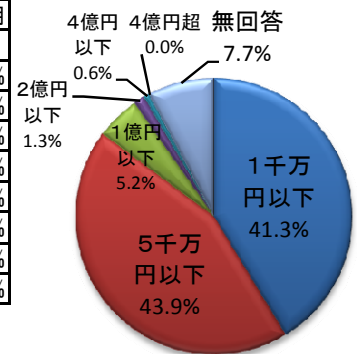
選択肢	10～12月期		7～9月期	4～6月期	1～3月期	10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	155	32.0%	28.6%	31.0%	30.4%	24.4%
借入れしない	312	64.3%	66.4%	65.8%	65.6%	73.2%
無回答	18	3.7%	5.0%	3.2%	4.1%	2.3%
総計	485	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前回調査と比べ、3.4ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

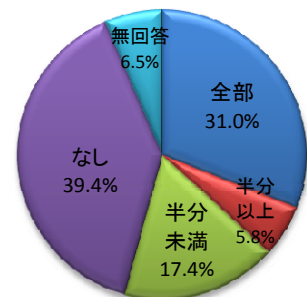
借入れ総額	10～12月期		7～9月期	4～6月期	1～3月期	10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	64	41.3%	45.6%	47.0%	51.8%	43.6%
5千万円以下	68	43.9%	36.9%	41.7%	40.2%	34.0%
1億円以下	8	5.2%	6.8%	4.3%	4.5%	9.6%
2億円以下	2	1.3%	5.8%	1.7%	0.9%	5.3%
4億円以下	1	0.6%	1.0%	0.0%	0.9%	1.1%
4億円超	0	0.0%	0.0%	1.7%	0.9%	2.1%
無回答	12	7.7%	3.9%	3.5%	0.9%	4.3%
総計	155	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、当期の借入は「1千万円以下」「5千万円以下」が5.8ポイント増加し、「1億円以上」が1.6ポイント減少しています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

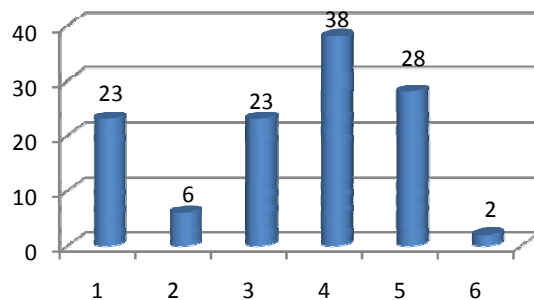
選択肢	10～12月期		7～9月期	4～6月期	1～3月期	10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	48	31.0%	28.2%	35.7%	37.5%	36.2%
半分以上	9	5.8%	13.6%	11.3%	13.4%	12.8%
半分未満	27	17.4%	7.8%	6.1%	4.5%	6.4%
なし	61	39.4%	48.5%	47.0%	44.6%	41.5%
無回答	10	6.5%	1.9%	0.0%	0.0%	3.2%
総計	155	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が、1.7ポイント減少しています。

上記の信用保証付き借入れの割合が「全部」「半分以上」または「半分未満」と答えた方にお尋ねします。信用保証を利用した理由は何ですか(複数回答)。

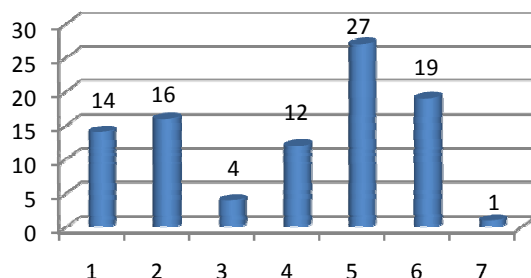
選択肢	回答数
1 自治体の制度融資を利用したため	23
2 担保・保証人不足だったため	6
3 長期資金の調達ができるため	23
4 <b>金融機関が保証付きを求めたため</b>	<b>38</b>
5 既往の保証付き借入れの借換えのため	28
6 その他	2
総計	120



信用保証を利用した理由は「金融機関が保証付きを求めたため」が一番多く、次いで「既往の保証付き借入れの借換えのため」となっています。

上記の保証付き借入れの割合が「なし」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか(複数回答)。

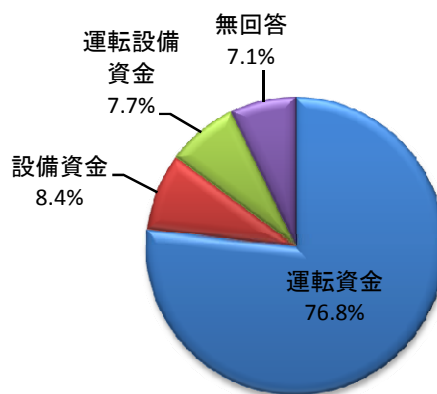
選択肢	回答数
1 保証料の負担を避けるため	14
2 保証を付けない借入れの借換えだったため	16
3 保証枠を既に使っていたため	4
4 すぐに必要な資金であったため	12
5 <b>短期資金であるため</b>	<b>27</b>
6 金融機関から保証を付けない融資の勧誘を受けたため	19
7 その他	1
総計	93



保証付き借入れがない理由は「短期資金であるため」が一番多く、次いで「金融機関から保証を付けない融資の勧誘を受けたため」となっています。

当期借入金目的は何ですか。

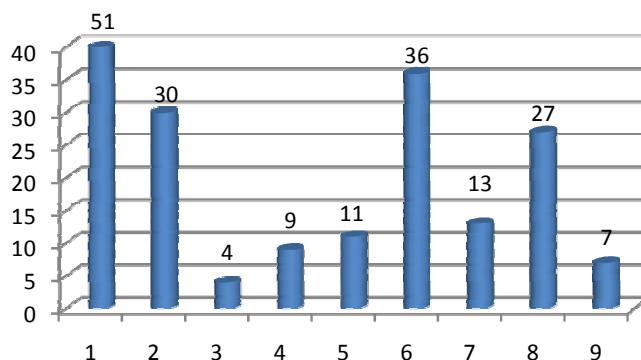
選択肢	回答数	構成比
運転資金	119	76.8%
設備資金	13	8.4%
運転設備資金	12	7.7%
無回答	11	7.1%
総計	155	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

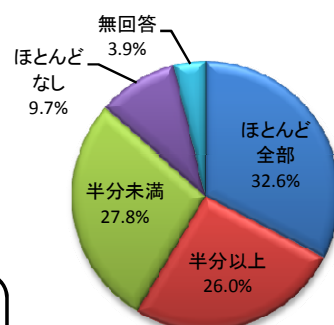
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	51
2 売上減少・赤字補填	30
3 過剰在庫対応	4
4 支払条件短縮対応	9
5 回収条件悪化対応	11
6 売上増加運転資金	36
7 在庫積み増し	13
8 季節運転資金	27
9 その他	7
総計	188



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が一番多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(13年12月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

選択肢	10～12月期		4～6月期	1～3月期	10～12月期	0
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
ほとんど全部	158	32.6%	28.9%	27.0%	29.9%	27.1%
半分以上	126	26.0%	26.9%	28.0%	25.4%	28.7%
半分未満	135	27.8%	26.9%	28.0%	27.2%	28.5%
ほとんどなし	47	9.7%	10.3%	10.0%	11.6%	10.0%
無回答	19	3.9%	6.9%	7.0%	5.8%	5.7%
総計	485	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

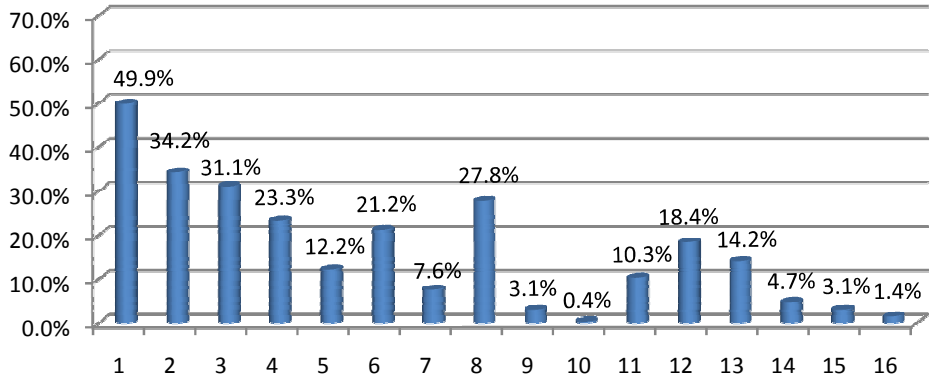


信用保証利用の割合は、「ほとんど全部」「半分以上」「半分未満」とする割合が、同程度となっています。



V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	242	49.9%	9 過剰在庫	15	3.1%
2 競争激化	166	34.2%	10 過剰設備	2	0.4%
3 コスト高	151	31.1%	11 後継者難	50	10.3%
4 業界構造変化	113	23.3%	12 資金調達	89	18.4%
5 取引条件の悪化	59	12.2%	13 借入過多	69	14.2%
6 消費者ニーズの多様化	103	21.2%	14 為替	23	4.7%
7 技術・商品開発	37	7.6%	15 中国・韓国問題	15	3.1%
8 人材・労働力の確保	135	27.8%	16 その他	7	1.4%



経営上の課題は、49.9%が「売上・受注の減少」、34.2%が「競争激化」となっています。次いで、「コスト高」「人材・労働力の確保」「業界構造変化」の順となっています。